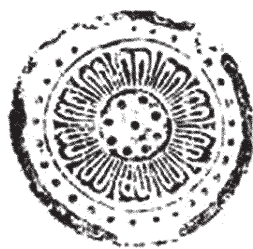


大分市歴史資料館年報

(令和5年度)



2024

はじめに

令和5年5月8日から新型コロナウイルスが5類へと移行し、令和2年より流行して以降、ようやく当館にも日常が戻り、展示事業や各種講座が再開いたしました。

令和5年度は、新しいことにチャレンジした年でした。本市が恒久平和の理念に基づき毎年開催しております「ムっちゃん平和祭」が40周年を迎え、その記念事業に当館も連携し、「戦争被災展 大分の記憶～大分での戦争を紐解く～」をホルトホール大分で開催しました。期間中、多くの方々が訪れ、戦時下における国民の備え、大分から出征した兵士の様子等を伝える資料を観て、日常があることの大切さを感じられたことと思います。

世界中でプレーされるサッカーは、日本の伝統文化の蹴鞠ともつながります。戦国時代、大友21代当主宗麟は蹴鞠の名手として知られ、江戸時代、大分県の杵築や日田で蹴鞠が行われていました。2つの球技は発祥や生まれた国こそ違うものの、今も日本人に親しまれています。今年、本市をホームとする大分トリニータが創設30年目の節目を迎えたことを契機に、「大分と蹴球」と題して大分における蹴鞠とサッカーの歴史を紹介するとともに、大分トリニータゆかりの資料も展示いたしました。新鮮な企画であったことから、サッカー好きな方やトリニータファンが来館され、これまでにない客層の方々へ、当館の周知を図ることができました。

最後になりますが、当館の活動に日頃から御協力をいただいております関係各位に、深く御礼を申し上げますとともに、温かい御支援を今後とも賜りますようお願い申し上げます。

令和6年5月1日

大分市歴史資料館

館長 植木 和美

目 次

展 示	1
テーマ展示 その他の展示	
資料調査	4
資料収集	7
教育普及活動	11
歴史資料館利用状況	16
管理及び運営	17
組織機構 分掌事務 職員 歳入歳出	
施設の概要	18
利用案内	19
その他	20
縄張調査	

展示(テーマ展示)

1.テーマ展示

令和5年 春季テーマ展示

「鎧兜の歴史と造形」

会 期：令和5年3月4日(土)～5月7日(日)

開館日数：55日 入館者数：1,982人

弥生時代、稲作の広まりで争いが起こり、木製のよろいが使われはじめた。古墳時代には、鉄製の甲冑が作られ、以降素材や加工技術の進化とともに、実用的な防具として進化した。しかし、戦いのない江戸時代には、装飾的な形態へと変わっていった。

展示では、所蔵の鎧兜を中心に、その歴史や構造と装飾について紹介した。

展示構成・主な展示品

[第一章 甲冑の成立]

「岬古墳(豊後高田市)出土遺物 短甲」

大分県立歴史博物館所蔵

[第二章 中世の鎧と兜]

「大化帖(筋兜の図)」、「児島高德騎馬図」、「鉄地筋金象嵌桃形兜」

[第三章 当世具足の登場]

「青糸威二枚銅具足」松栄神社(大分市)所蔵、「岡本家青糸威二枚胴具足」

[第四章 当世具足の仕組み]

「旧府内藩士家伝来具足」、「職人絵尽し 模本」

[エピローグ]

「錦絵 薩肥戦略紀(部分)」個人蔵



第一・二章 古代～中世の甲冑の展示



第三章 様々な当世具足の展示



第四章 展示の様子



展覧会全体の展示風景

鎧兜の歴史と造形

会期 三月四日(土)～五月七日(日)

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)

開館期間の休館日 3/7(火)、13(月)、20(月)、22(水)、27(月)、4/4(水)、10(月)、17(月)、24(月)、5/2(水)

観覧料 特別観覧料(大人210円・中学生100円・小学生50円) 一般観覧料(大人100円・中学生50円・小学生20円) 小学生以下は大人1名につき1名まで無料(小学生以下は大人1名につき1名まで無料)

大分市歴史資料館 大分市大字園分960-1
☎ 097-549-0880 ☎ 097-549-5766

ポスター

展示(テーマ展示)

令和6年 春季テーマ展示

「大分と蹴球」

会 期：令和6年3月2日(土)～5月26日(日)

開館日数：73日

入館者数：令和6年3月31日まで719人

日本の伝統文化の「蹴鞠」。世界中でプレーされる「サッカー」とも足を使う2つの球技は歩んだ歴史こそ違っても、今も日本人に親しまれている。

蹴鞠は中世には大友氏が行い、サッカーは1994年に大分トリニータが誕生した。

展示では、蹴鞠とサッカーの歴史を通史で解説しながら、両者の大分での受容と発展について紐解いた。

展示構成・主な展示品

【第一章 蹴鞠の文化と大分】

「鞠」個人蔵、

「土井家文書 蹴鞠一卷」杵築市立図書館所蔵

【第二章 日本サッカーの歩みと大分】

「ワールドカップ大分宣言」メモリアルギャラリー所蔵、
日名子実三「日本蹴球協会章」(1931年)

大分県立美術館所蔵

【第三章 設立30周年大分トリニータ】

「第19回全国地域リーグ決勝大会準優勝トロフィー」
クラブトリニータ所蔵、

「2008 Jリーグヤマザキナビスコカップ優勝トロフィー」
株式会社大分フットボールクラブ所蔵



第一章 「鞠」の展示



第二章 展示の様子



第三章 大分トリニータ関連の展示



ポスター



展示全体の様子(正面がフェアプレーフラッグ)

展示(その他の展示)

II.その他の展示

ムッチャン平和祭40周年記念事業

「戦争被災展 大分の記憶～大分での戦争を紐解く～」

会 期：令和5年8月1日(火)～8月15日(火)

会 場：ホルトホール大分1階ロビー

観覧者数：約600人

ムッチャン平和祭実行委員会が主催する展示に、当館所蔵資料39点及び当館に寄託されている資料等の写真パネル31点を出品した。

展示構成・主な展示品

[戦前・戦中の大分市中心市街地]

大分市街地図(昭和4年)

昭和23年大分市街地航空写真

[戦争に対する市民の備え]

防空頭巾

防毒面

市内の民家に残された柱

[銃後の守り]

木銃

国防婦人会(旗)

千人針

[大分の軍隊と兵士]

臨時召集令状

死亡通知書

日の丸寄書



戦前・戦中の大分市中心市街地



戦争に対する市民の備え



銃後の守り



展示会会場入口付近



大分の軍隊と兵士

資料調査

令和7年度特別展関係資料調査

令和7年度以降に特別展として実施することを検討していた「豊後絞り」の展示資料の調査を実施した。

豊後絞りは、江戸時代から明治時代にかけて大分で行われていた絞り染め技法である。大分では明治末期から昭和初期までで途絶えたが、江戸時代初期に豊後から尾張の有松・鳴海地域に伝播したとされている。同地域では現在も「ぶんご」と呼ばれる絞り染め技法として継承されており、絞り染めの伝統技術が続けられている。

染色研究者の安藤宏子氏は、有松・鳴海地域（名古屋市）で伝承されている絞り染め技法と大分に残っていた豊後絞りの伝世品等を研究し、豊後絞りの染色技術を復元し、豊後遊草会等の保存団体を設立して継承活動を行っている。特別展では、豊後絞りの始まりと変遷、有松・鳴海をはじめとする各地への伝播と継承、豊後絞り技法の復元への取り組みなどについて展示することを検討している。

1. 神奈川県藤沢市

調査日：令和6年1月31日(火)

調査員：高島豊・神田太一

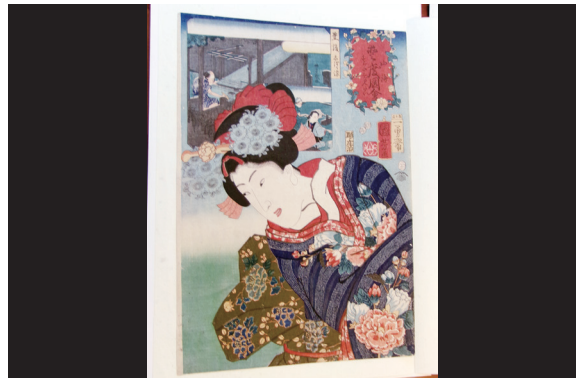
安藤氏所蔵の豊後絞りの伝世品及び豊後絞りを描いた浮世絵を調査した。安藤氏が大分市及び大分県内で収集した伝世品については、その多くは日本民芸館に寄贈されており、安藤氏の手に残っているものは5点のみであった。大分県内における明治時代以降の豊後絞りは商品として流通しなくなっており、また木綿製の普段着であるため、おむつとして再利用され消耗してしまうことから残存しないとのことであった。

浮世絵については、豊後絞りや絞り染めの着物を着用した人物や絞りの産地として著名になった鳴海宿を描いたものであり、単一のテーマで収集された絵画資料として極めて貴重なものと考えられる。

なお、絞り染めの展示にあたっては、紫外線や湿度による劣化が懸念されるため、光源や温湿度管理に注意が必要との指摘も受けた。



浮世絵の調査状況



絞り染めの着物を着ている美人画



「雙筆五十三次・小田原」絞りの浴衣を着た女



東海道五十三次四十一鳴海

資料調査

2. 遊草庵(愛知県名古屋市南区)

調査日：令和6年2月1日(水)

調査員：高島豊・神田太一

安藤氏の工房である遊草庵を訪問し、絞り染めの染色技法の伝承活動についてお話をうかがうとともに、染色を行う作業場所と道具や材料についての説明を受けた。



遊草庵外観

3. 鳴海絞開祖三浦之碑(愛知県名古屋市緑区)

竹田嘉兵衛商店 (愛知県名古屋市緑区)

有松・鳴海絞会館 (愛知県名古屋市緑区)

久野絞工場 (愛知県名古屋市緑区)

調査日：令和6年2月1日(水)

調査員：高島豊・神田太一

江戸初期、有松・鳴海地域に豊後から豊後絞りを伝えた人物とされる三浦氏の石碑を訪問し調査を行った。

また、有松・鳴海絞りの関係者にお会いし、同地区における絞り染めの歴史や現状、展示に必要な史料などについて話をうかがった。

有松・鳴海絞りにおいても、後継者不足が課題となっていたが、近年では若い職人も活躍するようになってきている。現代に合わせて伝統工芸技術の活用を行うことにより、新しいニーズを開拓していた。絞り染めの現在から未来への展開を示す展示部分で活用可能な資料と考えられる。



有松絞開祖三浦之碑



竹田嘉兵衛商店(竹田家住宅)



有松・鳴海絞会館内での絞り作業の様子



久野絞工場

資料調査

4. 大阪日本民芸館(大阪府吹田市千里万博公園)

調査日：令和6年2月2日(木)

調査員：高島豊・神田太一

安藤宏子氏旧蔵コレクションを対象とした資料調査を行った。大分県内で収集された豊後絞りの伝世品のほとんどは当館に寄贈されている。また、有松・鳴海絞りその他、安藤氏が収集した国内外の絞り染めの資料も多数寄贈されており、展示の幅を広げる場合には出品の検討が必要と考えられる。



手織り木綿地 白地夏掛け布団



豊後絞り伝世資料(竹田市 大正初期)



絞り産着



別府絞り



絞りの型紙



絞りの道具

資料収集

資料購入

資料収集委員会

1. 会議

開催日：令和5年12月1日(金) 場所：大分市歴史資料館 会議室

議案：審議事項 令和5年度購入予定資料の説明

2. 委員会名簿

委員構成		
段上 達雄(会長)	別府大学文学部特任教授	民俗学
下村 智(副会長)	別府大学名誉教授	考古学
大津 祐司	大分県立歴史博物館 企画普及員	文献史学
安田 晃子	宇佐市教育委員会 社会教育課	文献史学
田中 修二	大分大学教育学部教授	美学・美術史

資料購入について

1. 華南三彩貼花文五耳壺

本年度購入したのは、華南三彩貼花文五耳壺 1点である。

本資料は、器高 31.7cm、口径 13.0cm、胴径 27.7cm、底径 17.7cm を測る。

所謂トラディスカント壺と言われる華南三彩陶で、黄釉、緑釉、紫釉が施釉される。中国の華南地方の産とされるが、生産窯は明らかでない。16世紀後半頃から17世紀初頭にかけて日本国内にもたらされ、日本の陶磁器に少なからず影響を与えている。同時代の遺跡からの出土はもちろん、国内に多数の伝世品が残されている。トラディスカント壺は型式学的序列に従ってⅠ類、Ⅱ類、Ⅲ類に分類されており、本作品はⅡ類に分類される。

肩部に太い二条の沈線の入った縦耳が五つ、胴部に宝相華文一対(A面・C面)と六弁花文一対(B面・D面)が貼付(文様は何れも型押しによる浮文)される。それぞれが交互に唐草文(蔓)で結ばれ、宝相華文は頸部が下から立ち上がり、六弁花文は頸部が上から下がる。蔓には葉が付く、宝相華文部分には6枚、六弁花部分には4枚それぞれにつくが、子葉は付かずⅡ類の特徴を示している。また裾部単蓮弁は八弁あり、粗でありⅡ類に分類される。

六弁花文中心部文様は大きく分けて二種認められる。複線の円の外縁に17から13個の複線小弁を配するものと、さらにその内縁に10から7個の複線小弁を配するものがある。本作品は円外に17、円内に10個の小弁を配するものである。底部端は若干張り出し、底部は露胎で中央部は揚底気味になる。

本作品は、Ⅱ類として器高 31.7 cmで大型品に属し貼付文様も明瞭で優品に属し、5ヶ所の把手の内、壺正面の把手のみに黄釉(茶釉)が施釉され正面を強調していることが注目され、本作品の大きな特徴となっている。今のところ国内伝世品中唯一の例となる。しかし、一対の宝相華文の一部が剥離しているのが惜まれる。

大分市歴史資料館には、Ⅰ類2点、Ⅱ類2点の計4点が収蔵されているが、何れも中型品であり、器高 31.7 cmの大型品を収蔵品に加えるのも意味のあることである。

(本文は大分市歴史資料館資料鑑定員 木村幾多郎氏による)



A面



B面



C面



D面

資料収集(資料購入リスト)

番号	資料名	指定時資料番号	備考
1	華南三彩貼花文五耳壺	——	器高 31.7cm 口径 13.0cm 胴径 27.7cm 底径 17.7cm

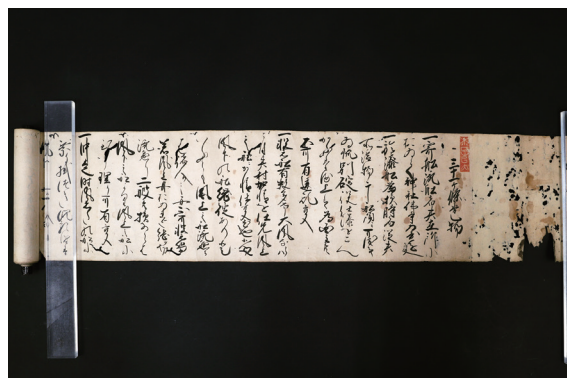
資料収集(寄贈資料リスト)

番号	寄贈者	資料名	点数	資料名詳細
1	大分市 個人	廻船式目 ほか	3	廻船式目：1、南豊名画集(乾)：1、南豊名画集(坤)：1
2	大分市 個人	酒造関係資料	112	此花包紙(酒瓶用包み紙)：111、大福帳：1
3	大分市 個人	細瓦師作製瓦	7	細瓦(「細安」銘)：1、細瓦(「細安」銘 大判)：1、細瓦(「細乙」銘)：1、細瓦(「細時」銘)：1、細瓦(「細宇」銘)：1、細瓦(「受合」銘)：1、細瓦(「細安」銘 細字体)：1
4	大分市 個人	古写真・絵葉書	78	大正期の大判写真：18、大分県関係絵葉書：16、大分県外の風景・名勝絵葉書：44
5	大分市 個人	坂ノ市地区研究資料・別大電車乗車券	262	「坂ノ市東小 50 周年記念誌」：1、坂ノ市地区郷土資料「原始時代の文化」：1、坂ノ市地区郷土資料「郷土の寺社建築について」：1、「佐賀関半島北岸の地質並びに地下資源」：1、坂ノ市町地名図：1、その他資料：1、別大電車切符：256

資料収集(寄贈資料写真)

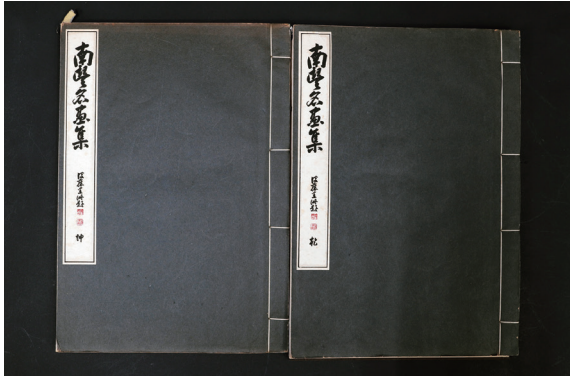


1-1. 廻船式目



1-2. 廻船式目

資料収集(寄贈資料写真)



1-4. 南豊名画集(乾坤)



2-1. 清酒此花包み紙



2-2. 大福帳



3-1. 細瓦(「細安」銘 大判)



3-2. 銘拡大「細瓦師安太」



4-1. 大正期の大判写真



4-2. 県会議事堂前写真1



4-3. 県会議事堂前写真2

資料収集(寄贈資料写真)



4-4. 大正 6 年大分女子尋常小学校卒業写真



4-5. 大正 12 年大分中学卒業写真



4-6. 伊勢神宮参拝記念写真



4-7. 大分県関係絵葉書



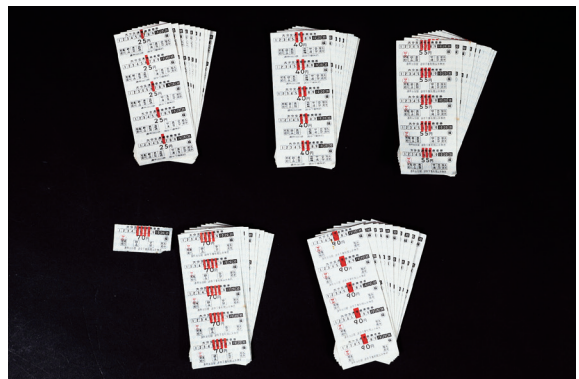
5-1. 坂ノ市町立東小 50 周年記念誌



5-2. 佐賀関半島北岸の地質並びに地下資源



5-3. 坂ノ市地区郷土資料「原始時代の文化」



5-4. 別大電車切符

教育普及活動

ふるさとの歴史再発見講座

定員：60名 受講料：各コース300円 時間：14時～15時30分

高校生以上を対象に、歴史(前期)(後期)、古文書(入門編)(応用編)の4コースの講座を下記の日程で開催。

(1) 前期ふるさと講座のコース

期間：5月～8月(各指定の土曜日) 受講者総数：104人

実施日	内 容	講 師	受講者
5月20日	「佐賀関の文化財―新登録文化財を中心に―」	高島 豊(当館職員)	30人
6月24日	「大友氏館跡の最新調査結果」	山本 尚人(文化財課)	28人
7月15日	「新国指定遺跡―里官衛遺跡について」	池邊 千太郎(文化財課)	24人
8月26日	「下郡遺跡群の発掘調査速報」	西 貴史(大分県立埋蔵文化財センター)	22人

(2) 後期ふるさと講座のコース

期間：10月～1月(各指定の土曜日) 受講者総数：100人

実施日	内 容	講 師	受講者
10月21日	「肥後街道―野津原御茶屋と鶴崎御茶屋」	松浦 憲治(当館職員)	31人
11月25日	「大友氏最後の戦い～石垣原の戦い～」	広津留 三紗(文化財課)	25人
12月16日	「おおいたのサカナトリ」	神田 太一(当館職員)	24人
1月20日	「国指定天然記念物 高崎山サル生息地の適正管理」	久保 賢太郎(文化財課)	20人

(3) 古文書入門編のコース

期間：10月～12月(各指定の土曜日) 受講者総数：99人

実施日	内 容	講 師	受講者
10月14日	大友義統「当家中作法日記」を読む	長田 弘通(大分市美術館)	22人
11月4日	大友義統「当家中作法日記」を読む	長田 弘通(大分市美術館)	19人
11月18日	大友義統「当家中作法日記」を読む	長田 弘通(大分市美術館)	18人
12月2日	大友義統「当家中作法日記」を読む	長田 弘通(大分市美術館)	20人
12月23日	大友義統「当家中作法日記」を読む	長田 弘通(大分市美術館)	20人

(4) 古文書応用編のコース

期間：1月～2月(各指定の土曜日) 受講者総数：78人

実施日	内 容	講 師	受講者
1月13日	「三浦家文書」	植木 和美(当館職員)	28人
2月10日	「三浦家文書」	串間 聖剛(文化財課)	24人
2月24日	「三浦家文書」	串間 聖剛(文化財課)	26人

教育普及活動

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やPTA、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動の利用があった。

☆移動講座（出張歴史教室）歴史体験をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館に出かけて体験学習を実施した。

<学校・団体体験活動利用数>

※学校・団体利用には、公園利用を含み講座受講生を含まない。

	利用団体数				利用者数				合計
					資料館		移動講座		
	学校	団体	移動	合計	児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	0	0	0	0	30	38	0	0	68
5月	1	2	2	5	289	246	188	8	731
6月	3	0	3	6	205	116	133	12	466
7月	0	3	4	7	475	334	145	35	989
8月	2	4	25	31	222	96	348	683	1,349
9月	16	4	1	21	667	122	0	20	809
10月	13	0	4	17	775	50	162	46	1,033
11月	17	0	4	21	1,423	79	303	214	2,019
12月	5	1	3	9	365	54	47	14	480
1月	11	1	1	13	703	77	11	16	807
2月	4	0	2	6	214	90	14	38	356
3月	0	2	0	2	106	62	0	0	168
計	72	17	49	138	5,474	1,364	1,351	1,086	9,275

ふれあい歴史体験講座

時間：9時30分～／14時～

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

【体験講座 材料費】

回	実施日(土曜日)		内 容	参加者		
				子ども	大人	計
1	4/22	午前・午後	土笛作り	30	38	68
2	5/27	午前・午後	はにわ作り	35	54	89
3	6/3	午前・午後	紙かご作り	9	54	63
4	6/17	午前・午後	勾玉作り	64	46	110
5	7/1	午前・午後	七夕飾り作り	35	27	62
6	7/22	午前・午後	土偶作り	54	54	108
7	8/19	午前・午後	土面作り	46	42	88
8	9/2	午前・午後	織物作り	11	23	34
9	9/16	午前・午後	籐芯かご作り	3	46	49
10	12/9	午前・午後	和風作り	26	24	50
11	1/27	午前・午後	土器作り	28	31	59
12	2/3	午前・午後	土の鈴作り	27	41	68
13	2/17	午前・午後	火起こし・明るさ	39	38	77
14	3/9	午前・午後	勾玉作り	54	52	106
合 計				461	570	1,031

体験講座名	材料費
火起こし・明るさ	20円
土笛作り	80円
土の鈴作り	100円
七夕飾り作り	120円
土面作り	170円
紙かご作り	170円
織物作り	200円
土偶作り	220円
勾玉作り	280円
はにわ作り	280円
和風作り	300円
土器作り	320円
籐芯かご作り	680円

教育普及活動

勾玉作り教室

受付時間：9時～11時／13時～15時

材料費：280円

夏休みと秋に、事前申込不要で勾玉作りを楽しんでもらう講座を2回実施。

回	実施日(土曜日)		参加者		
			子ども	大人	計
1	5/5	午前・午後	193	170	363
2	7/29	午前・午後	270	211	481
合計			463	381	844



ふるさとの歴史再発見講座「前期」(5月20日)

夏休みジュニア歴史探検

実施日：8月3日(木) 9時30分～15時30分

参加者数：29名 参加料：1,000円

小学4年～中学生を対象に、資料館のバックヤード見学や史跡公園を巡る歴史体験、鏡作り体験を実施した。



ふるさとの歴史再発見講座「前期」(8月26日)

職場体験学習の受け入れ

小学生～高校生を対象に、資料館職員の仕事を体験。

	学校数	受入日数	のべ人数
小学校	0校	0日	0人
中学校	6校	11日	51人
高校	0校	0日	0人
合計	6校	11日	51人

展示解説講座

定員：30名 時間：14時～15時30分

料金：無料(ただし、観覧料が必要)

テーマ展示及び特別展示の見どころについて、展示会場において学芸員が解説を行った。

実施日	内容	参加者
3/17(日)	春季テーマ展示「大分の蹴球」	9人
参加者合計		9人



勾玉作り教室(5月5日)



夏休みジュニア歴史探検(8月3日)



勾玉作り教室(7月29日)

教育普及活動

刊行物

※年報はホームページに掲載予定

名称	規格	頁数	部数
資料館ニュース131号	A4	4	6,500



資料館ニュース131号

教育普及活動

資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件名	件数
熟覧・写真撮影	22件
印刷物掲載・写真貸与	45件

(2) 資料の貸出

団体名	展示会名	点数
大分県立埋蔵文化財センター	特集展「鉄道の考古学」	61
竹田市歴史文化館・由学館	企画展「廉太郎と大吉 ～憾の真実2～」	3
大分県立美術館(OPAM)	「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」	3
西南学院大学博物館	企画展「シーボルトと近世の蘭学者たち」	5
大分県立埋蔵文化財センター	企画展「台所の歴史」	1
大分市民図書館	「大分のまつり～長月編～」	1
大分県立埋蔵文化財センター	企画展「九州・おおいたの古墳文化」	19
大分県立埋蔵文化財センター	企画展「くらしのなかの近世陶磁器」	41

広報事業

令和5年度は、以下の施設等に総合案内等のPR活動を実施。

学 校	小・中学校(市内)	89校
	小学校(市外)	62校
	高等学校・大学等	44校
行 政	市役所関係	38カ所
	県庁関係	4カ所
	県内自治体	21カ所
博物館	県外博物館	180カ所
	県内博物館	21カ所
	県外埋文センター・大学附属博物館等	89カ所
その他	市政記者クラブ(随時)	1社
	県内マスコミ	17社
	交通機関・一般施設等	64カ所

歴史資料館利用状況

月別観覧者数

単位：人

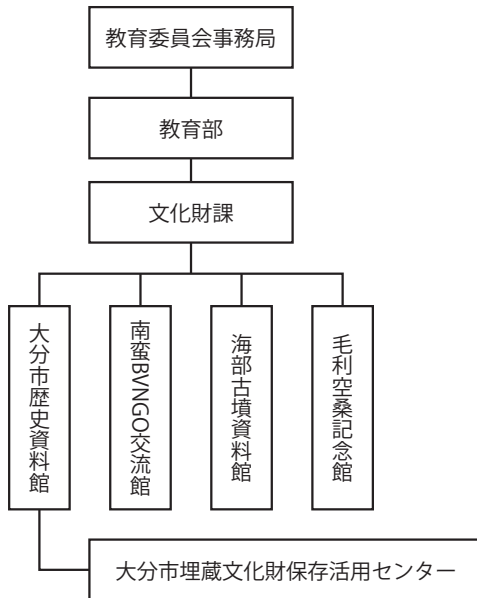
年 / 月	開館 日数	観覧者数										講座室利用者数							来館者 総合計
		一般				団体				合計	一般		資料館講座			映画会		合計	
		大人	高校生	中学生	小学生	大人	高校生	中学生	小学生		大人	小中高生	歴史講座 解説講座	資料館 主催 体験講座	学校等 体験教室	大人	小中学生		
5/4	26	612	3	11	72	38	0	0	30	766	194	1	0	68	0	594	109	966	1,732
5	26	374	2	5	40	276	0	4	285	986	220	0	30	452	279	591	297	1,869	2,855
6	26	264	0	3	20	144	2	4	199	636	132	0	28	173	293	376	105	1,107	1,743
7	26	324	5	5	33	358	4	1	470	1,200	149	85	24	651	338	667	433	2,347	3,547
8	25	357	9	14	58	107	0	14	208	767	183	139	22	143	1,206	447	156	2,296	3,063
9	26	462	2	2	32	112	2	47	618	1,277	187	47	0	83	726	531	50	1,624	2,901
10	26	282	4	1	28	162	0	0	775	1,252	124	0	53	0	1,033	395	32	1,637	2,889
11	25	332	0	2	39	191	0	0	1,424	1,988	160	0	62	0	2,019	425	36	2,702	4,690
12	23	319	3	9	25	118	0	7	358	839	206	15	64	50	430	404	63	1,232	2,071
6/1	23	385	0	2	40	125	0	0	703	1,255	211	4	48	59	748	456	70	1,596	2,851
2	25	384	1	6	48	140	0	0	214	793	204	0	50	145	211	513	121	1,244	2,037
3	26	498	3	10	56	62	0	0	106	735	203	52	9	106	62	550	122	1,104	1,839
合計	303	4,593	32	70	491	1,833	8	77	5,390	12,494	2,173	343	390	1,930	7,345	5,949	1,594	19,724	32,218

※団体観覧者数には、講座受講者を含み、公園利用のみの団体は含まない。

管理及び運営

1. 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

(1) 組織機構



(2) 分掌事務

- ①資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- ②歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- ③常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- ④歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- ⑤歴史、考古、民俗等(以下「歴史等」という。)についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- ⑥学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史講座等についての協力及び活動の援助に関すること。
- ⑦歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

(3) 職員

(令和5年4月1日現在)

職名	氏名	職名	氏名
参事兼館長	植木 和美	会計年度任用職員	生野 信治
参事兼副館長	高島 豊	会計年度任用職員	甲斐 猛
参事補	阿南 美和	会計年度任用職員	山本 ひとみ
主幹	中元 千穂	会計年度任用職員	塔鼻 祐之
指導主事	指原 健太郎	会計年度任用職員	三浦 享二
主査	松浦 憲治	会計年度任用職員	右田 芳明
主事	増永 祥大	会計年度任用職員	塔鼻 光司
事務員	神田 太一	会計年度任用職員	荒木 伴世
会計年度任用職員	高橋 修一	会計年度任用職員	米倉 加奈絵
会計年度任用職員	柳原 淳	会計年度任用職員	長畑 次弘
会計年度任用職員	久多羅岐 明		

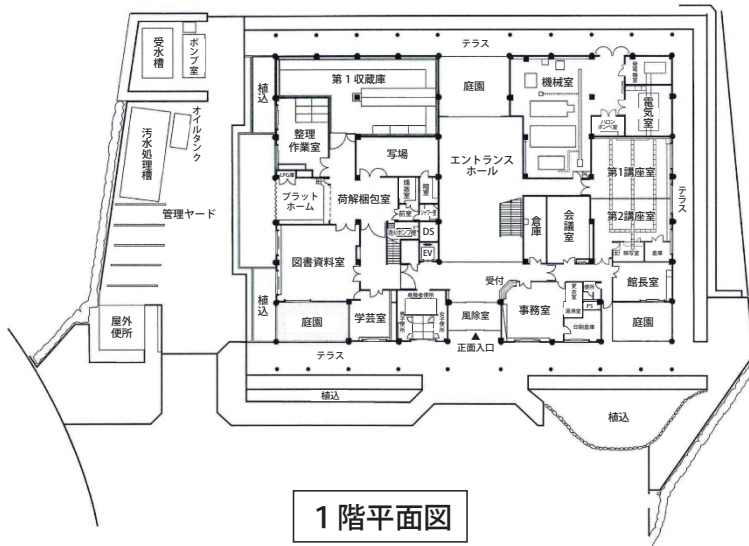
(4) 歳入歳出

(令和5年実績)単位：千円

歳入		歳出	
科目	金額	科目	金額
観覧料・講座室利用料	529	管理運営費	44,712
歴史講座受講料	854	企画展費	4,625
図録売払代金	130	資料購入費	280
雑収入	0		
計	1,512	計	49,617

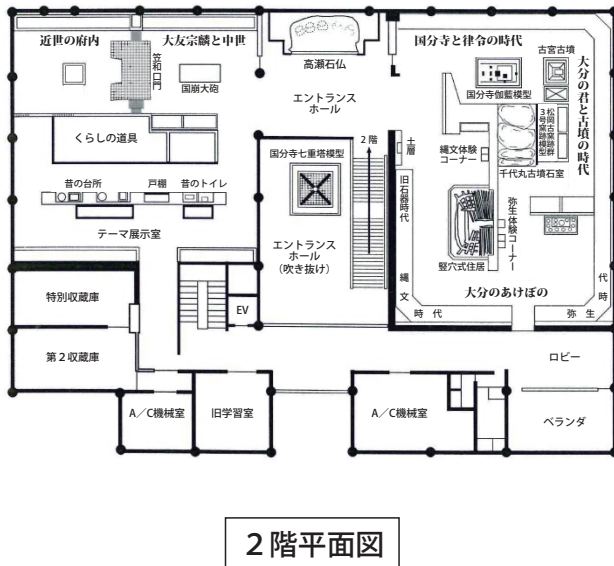
施設の概要

〈階別室別床面積〉 1階平面図



階別	部門	室名	面積(m ²)
1階	教育普及	第1講座室	63.72
		第2講座室	47.83
		映写室	8.23
		小計	119.78
	サービス	エントランスホール	215.05
		その他	131.25
	小計	346.30	
	事務管理	館長室	30.37
		事務室	46.54
		会議室	38.20
		倉庫	33.69
		更衣室	3.72
		その他	14.73
		小計	167.25
	学芸調査	図書資料室	80.93
		学芸室	25.22
		写場	48.37
	小計	154.52	
	収蔵	燻蒸室	6.75
		整理作業室	49.00
プラットフォーム		31.50	
荷解梱包室		52.02	
第1収蔵庫		135.67	
小計	274.94		
管理	機械室	197.54	
	EV他	10.06	
小計	207.60		
1階計			1270.39

2階平面図



階別	部門	室名	面積(m ²)
2階	展示	第1展示室	362.25
		第2展示室	243.00
		テーマ展示室	85.50
		小計	690.75
	収蔵	第2収蔵庫	41.62
		特別収蔵庫	41.62
	小計	83.24	
	サービス	旧学習室	33.63
		エントランスホール	87.51
		ロビー他	260.30
小計	381.44		
管理	A/C機械室	59.61	
	小計	59.61	
2階計			1215.04
塔屋	管理	排煙機械室	9.33
		ポンプ室	24.75
		階段その他	8.61
	塔屋計	42.69	
屋外	管理	屋外便所	24.30
		ポンプ室	12.50
屋外計			36.80
総計			2564.92

利用案内

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館）

ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日は開館）

祝日の翌日（土・日曜日の場合は開館）

年末年始（12月28日～1月4日）

観覧料：大人：210円（団体150円）

高校生：100円（団体50円）

中学生以下は無料

*団体は20名以上

*特別展開催中は、別料金となる場合があります。

交通機関：JR久大本線

◎豊後国分駅下車：徒歩2分

大分自動車道

◎大分I.C・光吉I.C.よりともに約15分



催しカレンダー

4月	5月	6月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
7月	8月	9月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
10月	11月	12月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1月	2月	3月
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

ふれあい歴史体験

期数	開催日	内容	開催時間
第1期	4月 22日(土)	土器作り	4月 22日(土) 9:00～
第2期	5月 27日(土)	紙漉し作り	5月 27日(土) 9:00～
第3期	6月 30日(土)	紙漉し作り	6月 30日(土) 9:00～
第4期	7月 27日(土)	土器作り	7月 27日(土) 9:00～
第5期	8月 24日(土)	土器作り	8月 24日(土) 9:00～
第6期	9月 14日(土)	土器作り	9月 14日(土) 9:00～
第7期	9月 14日(土)	土器作り	9月 21日(土) 9:00～
第8期	10月 12日(土)	土器作り	10月 20日(土) 9:00～
第9期	10月 27日(土)	土器作り	10月 27日(土) 9:00～
第10期	11月 27日(土)	土器作り	11月 27日(土) 9:00～
第11期	12月 2日(土)	土器作り	12月 2日(土) 9:00～
第12期	12月 30日(土)	土器作り	1月 20日(土) 9:00～
第13期	1月 17日(土)	土器作り	1月 20日(土) 9:00～
第14期	1月 30日(土)	土器作り	2月 24日(土) 9:00～

総合案内 大分市歴史資料館

今春5年春テーマ展示「鎧兜の歴史と造形」
今春6年春テーマ展示「大分と蹴球」

令和5年度総合案内チラシ(オモテ)

2023-2024
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

3月4日(土)～5月7日(日)
今春5年春テーマ展示「鎧兜の歴史と造形」

大分市内に残る鎧や兜などの展示。その歴史と美しさにあふれる展示です。

3月2日(土)～5月6日(日)
今春6年春テーマ展示「大分と蹴球」

蹴球がきっかけで興った大分の歴史と歴史資料を軸に、幅広い世代に分かちあう展示を行います。

5月～8月 各館での上場日

ふるさとの歴史再発見講座 前期(全4回)
11時～15時30分 【●会場: 高校生以上 ●観覧料: 300円】

10月～1月 各館での上場日

ふるさとの歴史再発見講座 後期(全4回)
11時～15時30分 【●会場: 高校生以上 ●観覧料: 300円】

10月～12月 各館での上場日

ふるさとの歴史再発見講座 古文書入門編(全3回)
14時～15時30分 【●会場: 高校生以上 ●観覧料: 300円】

1月～2月 各館での上場日

ふるさとの歴史再発見講座 古文書応用編(全3回)
14時～15時30分 【●会場: 高校生以上 ●観覧料: 300円】

3月1日(金) 3月2日(土) 3月29日(土)
夏休み教室
受付時間 9時～11時(都合は12時まで)
11時～15時(都合は16時まで)
●会場: 親子と一般(大人のみ可) ●観覧料: 50円

8月3日(木)
夏休みジュニア歴史探検
9時30分～15時30分
●会場: 小学4年生～中学生 ●観覧料: 50円(団体)

令和5年度総合案内チラシ(ウラ)

その他(縄張調査)

大分市戸次地区所在鏡城の縄張調査

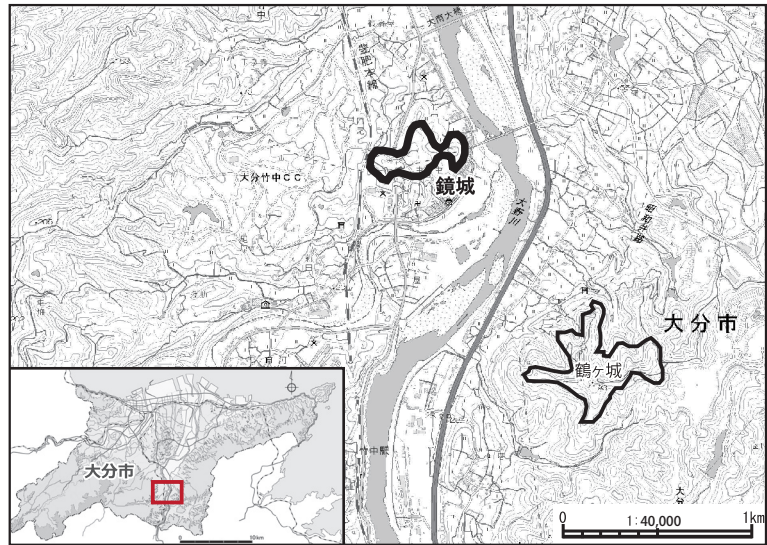
平成25年度に大分市大南支所より、歴史を活かしたまちづくりの一環として、鏡城の縄張図作成の依頼が文化財課にあった。そこで文化財課と大南支所、地元の大南地区文化財同好会で縄張図作成を平成25年4月に行った。

鏡城は大分平野東側を北流する大野川西岸の丘陵に面している。比高は約40メートルで、大野川をすぐ近くに見下ろすことができる。また対岸には鶴ヶ城が立地する。『雉城雑誌』等によれば、天正14(1586)年の島津氏の豊後侵攻の際、鏡城が豊臣・大友連合軍の拠点になった場所であったとされる。最終的には島津軍が戸次川の合戦で勝利したため、鏡城は島津氏に占領されたものと推定される。

縄張図調査成果によると、遺構は東側と西側に分けることができる。東側には主郭とその周囲に切岸及び、帯曲輪などが複数確認された。主郭の南方向には曲輪が連なり城道とも考えられる痕跡が一部残っている。曲輪の一部には石積みを確認されるが、中世まで遡るものかどうかは判然としない。一方、西側は約一町四方規模の方形状のフラットな曲輪がある。その周囲は高さ約1～2メートルの切岸が廻る。この空間は屋敷地、もしくは兵の駐屯機能などが考えられよう。その曲輪西側には現代の道路が構築されているが、そのさらに西側にも平地が続くようで、鏡城西側の限りは不明である。

鏡城は発掘調査などが行われておらず、確かな時期や機能は現状では困難である。ただその立地が大野川を良好に見渡すことができるため、有事の際だけでなく、日常の大野川監視機能等もあったと考えられる。

(五十川雄也)



鏡城位置図(1/40000)



鏡城縄張図(縮尺任意)[実測者：新庄道臣・清松直人・谷村幸治・五十川雄也]

大分市歴史資料館年報 2024

発行日：令和8年3月31日

編集・発行：大分市歴史資料館

〒870-0864 大分市大字国分960番地の1

TEL:(097)549-0880 FAX:(097)549-5766
